

第 61 回日本白内障学会総会
第 48 回水晶体研究会
ランチョンセミナー 2 (LS2)

Alcon

日時：2022 年 8 月 28 日 (日) 12:10 ~ 13:10

会場：11 階 グランドボールルーム A+B (ホテルマイステイズ宇都宮)

水晶体透明化計画

白内障手術によるアプローチ ~ Clareon® による透明化 ~

演者

湖崎眼科

前田 直之 先生

Clareon® の屈折安定性



演者

海谷眼科

大澤 亮子 先生

効率と精度を考慮した屈折白内障手術



座長

獨協医科大学

永田 万由美 先生



演者

大阪大学

相馬 剛至 先生

眼内レンズによる乱視コントロール



演者

えの眼科クリニック

繪野 亜矢子 先生

進化する屈折矯正白内障手術 2022



座長抄録

学会テーマである「全人類水晶体透明化計画」について、白内障手術によるアプローチとして、Clareon® 眼内レンズによる透明化を紹介させていただきます。

近年は、洗練された手術手技と進化を続けるテクノロジーにより、手術の目的を、患者満足度向上から、患者を感動させる提供価値へと深化してきています。本セミナーでは、Clareon® 眼内レンズを使用した患者を感動させる提供価値について紹介いたします。

まず、眼内レンズの豊富なエビデンスをお持ちの前田直之先生からは、Clareon® がもつ屈折安定性とその有用性についてお話しいたします。次に、相馬剛至先生からは、VERION™ イメージガイドシステムを用いた Clareon® Toric の臨床経験をご紹介します。大澤亮子先生からは、眼軸長測定器 ARGOS® の効率性と精度、Clareon® PanOptix® Toric のポテンシャルについて自験例をまじえご講演いただき、最後に、繪野亜矢子先生より、多焦点眼内レンズのこれまでの進化を、Clareon® PanOptix® の早期術後結果や術後屈折精度向上の重要性を踏まえご講演いただきます。

「全人類水晶体透明化計画」の一翼を担う Clareon® コレクションについて、ぜひその実力を体感ください。

ARGOS® はサンテック株式会社の商標です。

共催：第 61 回日本白内障学会総会・第 48 回水晶体研究会 / 日本アルコン株式会社

Alcon

SMS383-1

2207TNK
JP-CPO-2200046